

文教・警察常任委員会 県外行政調査

1 調査日 平成24年11月7日（水）～9日（金）

2 調査の概要

11月7日（水）

（1）広島県東部運転免許センター（広島県福山市）

広島県東部運転免許センターは、従来の広島県自動車運転免許福山試験場の庁舎老朽化にともない、施設の更新が行われることになった際に、広島県東部の住民の便宜を図るために、新たに設置されたものである。PFI手法を活用して整備が行われ、平成21年に業務を開始されている。

本県の運転免許センターは、老朽化、狭隘化している状況にあるため、今後の整備の参考とするため、施設の整備方法、施設の概要および運営状況について調査を行った。



11月8日（木）

（2）山口県議会（山口県山口市）

山口県では、昨年、48年ぶりに国民体育大会「おいでませ!山口国体」および全国障害者スポーツ大会「おいでませ!山口大会」を開催されている。その準備にあたっては、平成13年に山口国体準備委員会の設立、国体開催方針の決定が行われた後、競技の会場地市町村の選定等の準備が進められた。国体の開催後は、その成果を健康で心豊かな生活と活力ある地域社会の実現につなげていくため、平成24年3月にスポーツ推進の指針となる基本理念等を盛り込んだ「山口県スポーツ推進条例」を制定されるとともに、基本施策等の具体的な取り組みの方向性を示す「山口県スポーツ戦略プラン」を策定されている。今後は、これらの条例、戦略プランを基礎として、新たな「スポーツ推進計画」を策定し、スポーツによる明るく活力に満ちた「スポーツ元気県やまぐち」の実現を目指されている。

本県においても、平成36年に想定される「びわこ国体」以来2度目となる国体の開催に向けて、「国体検討懇話会」を立ち上げ検討されていることから、今後の参考とするため、山口県における施設整備および選手強化などの国体への対応、スポーツ振興のあり方について調査を行った。



(3) 維新百年記念公園（山口県山口市）

維新百年記念公園は、昨年度の山口国体、山口大会において、開会式、閉会式をはじめ、国体の陸上、体操、弓道、ラグビーフットボール（成年男子）の4競技、障害者大会の陸上、卓球の2競技の会場となった。第18回山口国体の主会場とその周辺を整備し、明治百年を記念して指定された全国10公園のひとつで、国体を契機に約50年ぶりに陸上競技場が整備された。

本県においても、将来の国体の開催に向けて、施設整備の必要があることから、その参考とするため、施設の整備方法、施設の概要および運営状況について調査を行った。



11月9日（金）

(4) 姫路城（兵庫県姫路市）

姫路城は、世界文化遺産に登録される日本を代表する城郭建築で、大天守をはじめとして国宝8棟、重要文化財74棟が残され、特別史跡にも指定されている。前回の解体復元工事から45年が過ぎ、傷みや汚れが激しくなってきたため、平成21年から5年間にわたって大天守の大規模な保存修理工事を行っている。期間中は、補修の様子を間近に見学できるようになっている。

本県の国宝、重要文化財の指定件数は、平成24年4月1日現在で全国第4位（建造物では全国第3位）であり、今後の文化財の修理の参考とするため、大規模な文化財（建造物）の修理について調査を行った。



(5) 三木総合防災公園（兵庫県三木市）

三木総合防災公園は、全体計画面積202.5ヘクタールの県立の広域公園で、災害時には隣接する広域防災センターと一体となり、全県の広域防災拠点として機能するとともに、通常は、県民のスポーツ、レクリエーションの拠点となっている。平成17年8月に野球場、同年11月に陸上競技場、球技場が開園し、平成18年10月には、「のじぎく兵庫国体」の少年男子サッカー競技および知的障害者サッカー競技が開催されている。

本県におけるスポーツ施設の整備の参考とするため、施設の整備方法、施設の概要および運営状況について調査を行った。

